

解説, 論文紹介, 書評など(全リスト)

2025

391. 樋口広芳. 2025. 鳥の雌雄の外観、種類で差 どうして? 東京新聞 2025年5月4日(日), p. 10.
390. 樋口広芳. 2025. 「太郎はなぜカラスに夢中になった? 鳥類学者・樋口広芳博士に聞く カラスの不思議な魅力」. 東映映画「花まんま」劇場パンフレット.
389. 樋口広芳. 2025. 市民協力と衛星追跡調査から浮かび上がった意外な経路. ヘルシスト 49(2): : 2-5.

2024

388. 樋口広芳. 2024. 冬の水辺の鳥景色. 河川文化 (108) : 4-7.
387. 樋口広芳. 2024. 季節をめぐる鳥の世界. 【季語と歳時記きごさい】 (16) : 148-153.
386. 樋口広芳. 2024. 温暖化が鳥の渡りに及ぼす影響. 都市と自然 (542) : 4-7.

2023

385. 樋口広芳. 2023. 「カラスと都市と人」. 清水哲朗著『トウキョウカラス』の解説文. ulus publishing, 東京.
384. 樋口広芳. 2023. 『クマタカ生態図鑑』刊行によせて. 若尾 親 (2023) 『クマタカ生態図鑑』, pp. 6-7. 平凡社, 東京.

2022

383. 樋口広芳. 2022. 講演録 第710回三田演説会 鳥の渡りと地球環境の保全. 三田評論 (1262) : 64-79.

2021

382. 樋口広芳. 2021. テクノロジーで解明! 渡りの科学. 『日本野鳥の会のとっておきの野鳥の授業』(日本野鳥の会編), pp. 94-105. 山と溪谷社, 東京.
381. 樋口広芳. 2021. 鳥の渡りの謎を追う. UP50(8):22-29. 東京大学出版会, 東京.

2020

380. 樋口広芳. 2020. Migratory Birds, What We Can Do To Save The Earth! 映画「グランド・ジャーニー」の劇場パンフレット中のインタビュー記事.
379. 樋口広芳. 2020. カラスがつくる都心のビワ園. 月刊日本橋 41 (4) : 19-21.

2019

378. Higuchi, H. 2019. In Memoriam: Professor Tsukasa Nakamura, 1926-2018. Auk ukz076 <https://doi.org/10.1093/auk/ukz076>
377. 樋口広芳. 2019. 名古屋城本丸御殿の襖絵「雪中梅竹鳥図」の謎. UP48(12):7-15. 東京大学出版会, 東京.
376. 樋口広芳. 2019. 鳥のくらしと生物多様性の保全. 環境 151:1-17.
375. 樋口広芳. 2019. 嶋田忠「野生の瞬間」に寄せて. 嶋田忠『野生の瞬間一華麗なる鳥の世界』, pp. 173-176. 東京都写真美術館, 東京.
374. 樋口広芳. 2019. ハチクマの奇妙な生態と渡り. 『アオバトのふしぎ〜森のハト、海へ行く〜』, pp. 68-73. 神奈川県立 生命の星・地球博物館, 小田原.
373. 樋口広芳. 2019. 紙碑: 中村司先生を偲ぶ. 日本鳥学会誌 68:128-129.

372. 樋口広芳. 2019. 書評：『島の鳥類学—南西諸島の鳥をめぐる自然史—』（水田拓・高木昌興編. 海遊舎）. 日本鳥学会誌 68:126-127.
- 2018
371. 樋口広芳. 2018. 小鳥と中村文さんと. 中村 文『小鳥草紙』, pp.158-159. 山と溪谷社.
- 2017
370. 樋口広芳. 2017. 究極の美を求めたオシドリの写真集. 福田俊司『鴛鴦』, p. 98. 文一総合出版.
369. 樋口広芳. 2017. 自然科学書協会に期待すること—自然科学書の多言語国際化. 自然科学書協会会報 (85) : 1-2.
368. 樋口広芳. 2017. (鳥害編) 鳥害の実態と対策. 安全衛生のひろば 58 (6):14-17.
367. 樋口広芳. 2017. ここまでわかった渡りの経路. 野鳥 82 (5): 6-13.
366. 樋口広芳. 2017. 鳥のいる景色. Publisher's Review 白水社の本棚 54:1.
- 2016
365. 樋口広芳. 2016. カンムリウミスズメ、日本列島周遊の旅. 野鳥 81 (7) : 8-9.
364. 樋口広芳. 2016. シギ・チドリがいなくなった! 野鳥 81 (5) : 7-11.
363. Chen, W., Doko, T., Fujita, G., Konishi, K. and Higuchi, H. 2016. Migration routes of Tundra Swans satellite-tracked from northern Japan. East Asian-Australasian Flyway Partnership Newsletter.
- <http://www.eaaflyway.net/migration-routes-of-tundra-swans-satellite-tracked-from-northern/>
- 2014
362. Higuchi, H. 2014. Preface (The Special Issue on the Impacts of the Great East Japan Earthquake and Tsunami on Human Life and Ecosystems). Global Environmental Research 18: 1.
361. 中村 文・樋口広芳. 2014. 渡りの不思議に迫る. 中村 文『ときめく小鳥図鑑』, pp.102-103. 山と溪谷社.
360. 樋口広芳. 2014. たかが鳥、たかがタカのこと、か? UP43 (7) : 22-27.
359. 樋口広芳. 2014. 鳥の渡りの謎に迫る. 『ザ・環境学』（小林 光編）, pp. 36-48. 勁草書房. 東京.
358. 樋口広芳. 2014. 推薦文. 遠藤公男『アリランの青い鳥』. 垂井日出印刷, 岐阜.
- 2013
357. 樋口広芳. 2013. 放射能汚染が動植物の繁殖、生存、分布に及ぼす影響 —チェルノブイリ原発事故 25 年後の自然の世界—. 里山学研究センター 2013 年度年次報告書 : 67-75.
356. Higuchi, H. 2013. Editorial. Argos Forum 77:3.
355. 樋口広芳. 2013. 山を越え、海を渡る鳥を追う. Ocean Newsletter 316:6-7.
354. 岩崎由美, 樋口広芳. 2013. 八丈小島におけるクロアシアホウドリに関する報告と今後の保全対策. ユリカモメ 694 : 16.
353. 樋口広芳. 2013. 私と鳥の渡り研究. 私たちの自然 585 : 8-9.

2012

352. Higuchi, H. 2012. Satellite tracking of birds over the past 20 years. *Tracker News* 13 (2):5.
351. 樋口広芳. 2012. 鳥類の渡りの衛星追跡. *環境研究* 167 : 117-125.
350. 樋口広芳. 2012. 鳥類の渡りを追う—衛星追跡と放射能汚染. *科学* 82:876-882.
349. 樋口広芳. 2012. 温暖化が植物や鳥類の生物季節に及ぼす影響. *気候影響・利用研究会会報* 31 : 25-26.
348. 樋口広芳. 2012. これまでの研究生活を振り返って. *鳥学通信* 34.

2011

347. 樋口広芳. 2011. 放射能汚染が鳥類の繁殖、生存、分布に及ぼす影響—チェルノブイリ原発事故 25 年後の鳥の世界—. *学術の動向* 16(12):70-73.
346. 樋口広芳. 2011. 旅する鳥たちのふしぎ. *みどりの風* 28:14-15.
345. 樋口広芳. 2011. 新理事長あいさつ. *JAGA NEWS* 13:1.
344. 樋口広芳. 2011. 上野の最近の鳥事情—人慣れスズメとウミネコの繁殖—. 上野のれん会「うえの」630 : 21-23.
343. 樋口広芳. 2011. 地球上の自然をつなげるメッセンジャー、渡り鳥の神秘を解き明かす. *GAS EPOCH* 75:30-33.
342. 樋口広芳. 2011. 生物の多様性が私たちの暮らしを豊かにする. *ZCLUB*2011 年 10 月号 : 8-11.
341. 上條隆志, 樋口広芳. 2011. <企画趣旨>三宅島 2000 年噴火が陸上生態系に与えた影響. *日本生態学会* 61 : 155-156.
340. 樋口広芳. 2011. 人工衛星を使った発信機調査. *野鳥* 76 (3) : 7.
339. 樋口広芳. 2011. 渡り鳥は今、訴える！～鳥の渡りと地球環境の保全～. 第 4 回自然を愛する講演会講演録, pp. 16-38. 公益法人再春館「一本の木」財団、熊本.
338. 樋口広芳. 2011. 世界の自然をつなぐ渡り鳥. 『鳥との共存をめざして—考え方と進め方—』(日本鳥類保護連盟編), pp. 11-17. 中央法規, 東京.

2010

337. 樋口広芳. 2010. 「いただきます」に込められた意味. *国際環境研究協会ニュース* 174 : 2-3.
336. 樋口広芳. 2010. 書評：綿貫豊著 (2010) 「海鳥の行動と生態—その海洋生活への適応—」. *日本生態学会ニュースレター*22 : 28-29.
335. 樋口広芳. 2010. 鳥類の子育てとアロマザリング. 『ヒトの子育ての進化と文化』(根ヶ山光一, 柏木恵子編), pp. 31-32. 有斐閣, 東京.
334. 樋口広芳. 2010. 鳥のちえ. 『ひろがることば 小学国語 2 上』, pp. 104-107. 教育出版, 東京.
333. Higuchi, H. and Hupp, J. 2010. Satellite tracking and the importance of international collaboration. *Tracker News* 11(1):3.
332. 樋口広芳. 2010. 生命 (いのち) のにぎわい、そして私たちの暮らし. *あけぼの* 55(7) : 8-9.
331. 樋口広芳. 2010. 鳥の渡りと地球温暖化. *はばたき* 454:6-8.

2009

330. 樋口広芳. 2009. 鳥と航空機の衝突とその防止策. 航空の安全及び経済に関する研究会誌 (平成 21 年度前期), pp. 101-126. 航空保安協会.
329. 樋口広芳. 2009. ヒマラヤを越えるツル. 緑と水のひろば 58:16-17.
328. Higuchi, H. 2009. Satellite tracking and avian conservation in Asia. Argos Forum 68:4-5.
327. 樋口広芳. 2009. 発刊おめでとうございます. 写真図鑑『熊本の野鳥』(日本野鳥の会 熊本県支部), pp. 3.
326. 樋口広芳. 2009. 渡り鳥はどこへ行く?—鳥の移動を知るいろいろな追跡機器—. Nature Interface 43:1-3.
325. Higuchi, H. and Primack, R. B. 2009. Conservation and management of biodiversity in Japan: An introduction. Biological Conservation 142:1881-1883.
324. 樋口広芳, 竹内純子. 2009. 渡り鳥は世界の自然をつなぐ. 尾瀬ブック 2009, pp. 52-55. 山と溪谷社, 東京.

2008

323. Primack, R., 樋口広芳. 2008. お花見と気候変動. 『保全生物学のすすめ (プリマック・R., 小堀洋美著)』(改訂版), pp. 138-139. 文一総合出版, 東京.
322. 樋口広芳, 伊藤秀三, 松岡敷充, 小森繁樹, 西原弘. 2008. どうしたらガラパゴスを救えるか. グラハム・ワトキンス博士来日記念シンポジウム『Rescue Galapagos!〜今、ガラパゴスが危ない〜』講演・資料集, pp. 15-47. 日本ガラパゴスの会事務局, 東京.
321. 宮島達男, 樋口広芳. 2008. 北海道天売島から一渡り鳥を追い、地球をネットワーク化する. 『宮島達男 Art in You-内なるアートを発見する 5 つのステップ』, pp. 105-118. エスクァイア マガジン ジャパン, 東京.
320. 樋口広芳. 2008. 地球温暖化と生物多様性の危機. 科学 78:460-468.
319. 樋口広芳, 鈴木君子. 2008. 地球温暖化、私たちにできること. 野鳥 73(2):16-21.
318. 樋口広芳. 2008. 地球温暖化と動植物の生活. 野鳥 73(2):6-15.
317. 樋口広芳, 小池重人. 2008. 地球温暖化が動植物の生物季節や分布に与える影響. 森林科学 52:9-13.
316. 樋口広芳. 2008. 対中関係に“真”求める. 東大新報 1024:4.

2007

315. 樋口広芳. 2007. 国境を越える渡り鳥. 21 世紀の環境とエネルギーを考える, 35:1-3. 時事通信社.
314. 樋口広芳. 2007. 鳥の渡りの謎を解く—衛星追跡からわかったこと—. 『生態と環境』(シリーズ 21 世紀の動物科学 1 1), pp. 6-50. 培風館, 東京.
313. 樋口広芳. 2007. 鳥の渡りの衛星追跡—野生の生きものとの共生のあり方を探る—. 弥生 45:4.
312. 樋口広芳. 2007. 先輩から後輩へ託す、心の声—研究は中途半端にはやらない. やるからには、徹底的にやる—(インタビュー記事). Wildlife Forum 12(1):6-11.
311. Primack, R. and Higuchi, H. 2007. Climate change and cheery tree blossom festivals in Japan. Arnoldia 65(2):14-22.

310. 樋口広芳. 2007. ハチクマって変な鳥！渡りもその他の生態も. 私たちの自然 529 : 5-7.
309. 樋口広芳. 2007. 解決の筋道が求められる「国家戦略」. 自然保護 498 : 2-3.
308. 樋口広芳. 2007. 三宅島の自然と環境保全. 三宅島の自然ガイド, pp. 46-47. 文一総合出版、東京.
307. 樋口広芳. 2007. 渡り鳥を追って - 生きものと農業の共存を考える. 農業共済新聞, 2007年4月2日週号, p. 7.
306. 樋口広芳. 2007. 北へ南へ、衛星がとらえた鳥の旅路. FRONT 19 (6):4-7.
305. 樋口広芳. 2007. 鳥の旅、人の旅. 経済Trend 55 (2): 53.

2006

304. Higuchi, H. and Hotta, M. 2006. Ecology and conservation of birds of prey, Introduction. Ornithological Science 5:149-150.
303. 樋口広芳. 2006. 干潟の過去、現在、そして未来. 地球環境 11 : 147-148.
302. Higuchi, H. 2006. International Flight-Promoting cross-border conservation for Asian buzzards. ARGOS forum 2006:4-7.
301. 樋口広芳. 2006. 鳥たちの貯食行動. Birder 20 (11) : 42-45.
300. 樋口広芳. 2006. ハチクマの渡り衛星追跡. Birder 20 (10) : 30-31.
299. Higuchi, H. 2006. Toward better understanding of global environmental Research. Global Environmental Research 10:135.
298. 渡辺ユキ, 樋口広芳. 2006. 殺虫剤フェンチオンの使用回避についての要望書提出の経緯と国の対応. 保全生態 11:70-75.
297. 樋口広芳. 2006. 拡大する野生との軋轢 (後編). 科学 76 : 835-840.
296. 樋口広芳. 2006. 拡大する野生との軋轢 (前編). 科学 76 : 745-749.
295. 樋口広芳. 2006. 忘れられない瞬間-鳥との一期一会-. 私たちの自然 516 : 20-21.
294. 加藤和弘, 樋口広芳. 2006. 三宅島 2000 年噴火・鳥類への影響と回復. 森林科学 46 : 16-19.
293. 樋口広芳. 2006. よみがえれ, 三宅島の自然! 森林科学 46 : 4-6.
292. 樋口広芳. 2006. 出水のツルは世界のツル. 西日本新聞 1月4日, p. 16 (上); 1月5日, p. 20 (下).

2005

291. 樋口広芳. 2005. 保護増殖事業をめぐる問題点. 自然保護 488 : 38.
290. 樋口広芳. 2005. カラスの地域食文化. 遺伝 59 (6) : 7-9.
289. 樋口広芳. 2005. 生物としての自分. 東京大学新聞 3411 : 2.
288. 樋口広芳. 2005. 若き日の「恩師」, エルンスト・マイヤー. タクサ 19 : 90-91.
287. 樋口広芳・渡辺ユキ. 2005. 鳥類の渡りと鳥インフルエンザの伝播. 科学 75 (1) : 43-47.

2004

286. 樋口広芳. 2004. 「ロビンの生活」「生命の多様性」「保全生物学」. 『東大教師が新入生にすすめる本』, pp. 170-172. 文藝春秋, 東京.
285. 樋口広芳, 鈴木茂也. 2004. 三浦半島二子山での暗色ヤマガラの観察. バーダー18(11) : 66.

284. 樋口広芳. 2004. ハチクマの渡り衛星追跡. 遺伝 58 (6) : 20-21.
283. 樋口広芳. 2004. 噴火後の三宅島の鳥と自然. 私たちの自然 45(10) : 2.
282. 樋口広芳. 2004. 長旅ハチクマ, 渡りルート大追跡. バーダー18(10) : 33.
281. 樋口広芳. 2004. カッコウのなかも. 私たちの自然 497 : 14-15.
280. 樋口広芳. 2004. 鳥類. 『森林保護学』(鈴木和夫編), pp. 37-41. 朝倉書店, 東京.
279. 樋口広芳. 2004. ロビンの生活. 野鳥 69 (3) : 17.
278. 樋口広芳. 2004. 人工衛星を利用した鳥の渡り追跡. 遺伝 58 (2) : 83-88.

2003

277. 樋口広芳. 2003. 美しい日本の自然. ウィークリー出版情報 22 (48) : 3.
276. 樋口広芳. 2003. カラスの勝手か? ウィークリー出版情報 22 (47) : 3.
275. 樋口広芳. 2003. 鳥やカエルの声がしない! ウィークリー出版情報 22 (46) : 3.
274. 樋口広芳. 2003. 渡り鳥と気候. 『環境気候学』(吉野正敏・福岡義隆編), pp. 331-337. 東京大学出版会, 東京.

2002

273. 樋口広芳. 2002. イタチ放獣後の三宅島の動物相. 『外来種ハンドブック』(村上興正・鷺谷いづみ編), pp. 235. 地人書館, 東京.
272. 樋口広芳. 2002. カラスに文化はあるか. 上野動物園開園 120 周年記念学術研究発表会要旨集 : 35-40.
271. 加藤和弘, 樋口広芳. 2002. 三宅島 2000 年大噴火の鳥類への影響. 遺伝 56 (5) : 31-36.
270. 樋口広芳. 2002. 「三宅島の自然はいま」特集にあたって. 遺伝 56 (5) : 25-26.
269. 樋口広芳. 2002. 夏鳥が減っている. やましな鳥研ニュース, 14 (6) : 2.
268. Higuchi, H. 2002. From Japan through Asia to the world: building bridges in ornithological science. *Ornithological Science* 1:1-2.
267. 樋口広芳, 穴原甲一郎, 平田節子, 杉本伸一, 山本裕. 2002. 三宅島の今, そして未来 (後編). 野鳥 67 (3) : 4-11.
266. 樋口広芳, 穴原甲一郎, 平田節子, 杉本伸一, 山本裕. 2002. 三宅島の今, そして未来 (前編). 野鳥 67 (2) : 4-15.
265. 樋口広芳. 2002. 三宅島の今, 噴火と自然環境への影響. 理科教室 45 (3) : 1-5.
264. 樋口広芳. 2002. どう変わる? 三宅島の自然. 遺伝 56 (1) : 25-26.
263. 樋口広芳. 2002. すばらしきかな, 三宅島の自然! 国立科学博物館ニュース 393 : 3.

2001

262. 樋口広芳. 2001. 渡り鳥はどこからどこへ人工衛星を利用した渡り鳥の移動追跡一. *Earthian*191 : 8-13.
261. 樋口広芳. 2001. 環境科学と IT—今回のシンポジウムを振り返って—. *Earthian*191 : 4-7.
260. 樋口広芳. 2001. 渡り鳥はどこからどこへ人工衛星を利用した渡り鳥の移動追跡一. *Nature Interface*1(6) : 15-17.
259. 樋口広芳. 2001. 湿原に映える白 秋は南へ数千キロ. 読売新聞 2001 年 9 月 17 日.
258. 樋口広芳. 2001. 子孫繁栄に直結 命がけの美しさ. 読売新聞 2001 年 9 月 10 日.
257. 樋口広芳. 2001. 夕暮れの干潟 静寂の時間. 読売新聞 2001 年 9 月 3 日.

256. 樋口広芳. 2001. 昼夜問わず渡り かつて日本にも. 読売新聞 2001年8月20日.
255. 樋口広芳. 2001. 渡り鳥が翼休める 非武装地帯の自然. 読売新聞 2001年8月6日.
254. 樋口広芳. 2001. 経験から学んだ知恵. 読売新聞 2001年7月23日.
253. 樋口広芳. 2001. 捕食者いない鳥 平和な地上生活. 読売新聞 2001年7月16日.
252. 樋口広芳. 2001. 上昇気流利用し見事な編成飛行. 読売新聞 2001年7月9日.
251. 樋口広芳. 2001. 緑の広い湿地で のびのび子育て. 読売新聞 2001年7月2日.
250. 樋口広芳. 2001. 硬いクルミの実 車に踏ませ食事. 読売新聞 2001年6月18日.
249. 樋口広芳. 2001. 特技の投げ餌漁 釣り人のまね? 読売新聞 2001年6月11日.
248. 樋口広芳. 2001. 円満夫婦は夜も変わらぬ親密さ. 読売新聞 2001年5月28日.
247. 樋口広芳. 2001. 水田と林に生き 里山の自然象徴. 読売新聞 2001年5月21日.
246. 樋口広芳. 2001. 他の鳥の巣に卵 子育ておまかせ. 読売新聞 2001年5月14日.
245. 樋口広芳. 2001. 早まる子育て 温暖化の影響. 読売新聞 2001年5月7日.
244. 樋口広芳. 2001. 都市部での行動 追跡で明らかに. 読売新聞 2001年4月16日.
243. 樋口広芳. 2001. 餌投げて魚呼ぶ 技巧巧みな太公望. 読売新聞 2001年4月9日.
242. 樋口広芳. 2001. 地上を跳びはね 赤ボタンつつく. 読売新聞 2001年4月2日.
241. 樋口広芳. 2001. 新時代を迎える日本鳥学会. 鳥学ニュース 81:1-2.
240. 樋口広芳. 2001. 38度線の意味するもの—鳥の渡りと非武装地帯—. Nature Interface 1(5):60-61.
239. 樋口広芳. 2001. 鳥たちのその後. 生物科学 53:80-81.
238. 樋口広芳. 2001. 日本生態学会関東地区会公開シンポジウム「生物多様性の意義と価値」. 日本生態学会関東地区会会報 49:1.
237. 樋口広芳. 2001. 鳥はどこまで考えているか. 学士会会報 833:180-185.
236. 樋口広芳. 2001. 人・鳥・自然. 研究ジャーナル 24(8):48-57.
235. 樋口広芳. 2001. カラス, なぜ遊ぶ? Phase121:26-27.
234. 樋口広芳. 2001. 上野のカラスはどこへ行く? うえの 507:26-27.
233. 樋口広芳. 2001. 第23回国際鳥類学会大会発表申し込み締め切りのお知らせ. 鳥学ニュース 79:3.
232. 樋口広芳. 2001. 2002年第23回国際鳥類学会大会のお知らせ. 鳥学ニュース 78:4-5.
231. 樋口広芳. 2001. 高い知能を持ったカラス. 「遊び」のバリエーションも豊富です. Realty Time 233:2-3.
230. 樋口広芳. 2001. PHSを利用したカラスの移動追跡. Nature Interface1(2):10-15.
229. 樋口広芳. 2001. 鳥の渡りと朝鮮半島の非武装地帯. 科学 71:224-231.
228. 樋口広芳. 2001. 三浦半島にイイジマムシクイが飛来. はばたき 344:8.

2000

227. 樋口広芳. 2000. 鳥の渡りと地球環境の保全. 琉球新報 2000年10月21日号
226. 樋口広芳. 2000. 渡り鳥のための国際共同研究プロジェクト. 新訂『新しい国語』研究編, pp.143. 東京図書, 東京.
225. 樋口広芳. 2000. カラスと人間. Animalitarian 14:1.
224. 樋口広芳. 2000. 珍しい水辺の鳥たち. Aqua 24:24-25.

1999

223. 樋口広芳. 1999. 鳥暦と沈黙の春. 『こよみ』, pp. 147-180. 東京大学出版会, 東京.
222. 樋口広芳. 1999. 渡り鳥の減少と東南アジアの環境破壊. 水情報 19 (8) : 7-10.
221. 樋口広芳. 1999. 鳥暦の異変. 聖教新聞. 1999年8月17日.
220. 樋口広芳. 1999. 宇宙からツルを追う. 新しい国語, pp. 36-49. 東京書籍, 東京.
219. 樋口広芳. 1999. 鳥暦(とりごよみ)と沈黙の春—渡り鳥が警告する地球環境問題—. 東京大学公開講座講義要項, pp. 38-44.
218. 樋口広芳. 1999. 渡り鳥の生態と保全. JEAS ニュース 81 : 27-29.
217. 樋口広芳. 1999. 渡り鳥に国境はあるか—鳥の渡りの衛星追跡—. 北九州野鳥 (152) : 5-6.

1998

216. 樋口広芳. 1998. カエルが消える (書評). 日経サイエンス 29 (1) : 137.
215. 樋口広芳. 1998. 将来計画ワーキンググループ中間報告. 鳥学ニュース 68 : 8-12.
214. 樋口広芳・森下英美子. 1998. 日本の夏鳥はどこへ—渡り鳥がつなぐ世界の森林—. グローバルネット 93 : 4-5.
213. 樋口広芳. 1998. 私の夢, 鳥の渡りの研究. 山階鳥研 NEWS 10(8) : 2-3.
212. 樋口広芳. 1998. 「湿地生態系とその保全」特集にあたって. 遺伝 52 (7) : 10.
211. 樋口広芳・森下英美子. 1998. 夏鳥の行方. S・E・A(30) : 1-5.
210. 樋口広芳. 1998. カラスの生活, 人の生活 (書評). 人と動物の関係学会誌 3 : 114.
209. 樋口広芳. 1998. 日本の森と動物. 日本の自然 (浜田隆士・中村和郎編), pp. 175-186. 放送大学教育振興会, 東京.
208. 樋口広芳. 1998. 日本の鳥類. 日本の自然 (浜田隆士・中村和郎編), pp. 159-174. 放送大学教育振興会, 東京.

1997

207. 樋口広芳. 1997. 生態系を護ることは人類という種を護ること. ビイ・オール 64:17-19.
206. 樋口広芳. 1997. 鳥たちの旅～わたりの謎を探る. Calmic Healthy Buildings 16 : 2-3.
205. 平川浩文・樋口広芳. 1997. 生物多様性の保全をどう理解するか. 科学 67 : 725-731.
204. 樋口広芳. 1997. 叡知を集めて. 科学 67 : 701.
203. 樋口広芳・森下英美子. 1997. 野生動物保全の新しい試み. 生物科学 49 : 84-94.
202. 樋口広芳・森下英美子. 1997. 渡り鳥の減少とその保全. 遺伝別冊 9 : 95-104.
201. 仁平義明・樋口広芳. 1997. ハシボソガラスの自動車利用行動の発生と広がり. 現代のエスプリ 359 : 120-128.
200. 樋口広芳・黒沢令子. 1997. ササゴイの投げ餌漁—その起源と発達. 現代のエスプリ 359 : 111-119.
199. 松沢哲郎, 菅原和孝, 仁平義明, 樋口広芳. 1997. 行動の伝播と進化—チンパンジー学・鳥類学・文化人類学・心理学から. 現代のエスプリ 359 : 5-34.
198. 樋口広芳. 1997. 東大教師が新入生にすすめる本. UP26 (4) : 39-41.
197. 樋口広芳, 森下英美子, 宮崎久恵. 1997. 夏鳥は減っている? 野鳥 62 (3) : 38-41.
196. 樋口広芳. 1997. 鳥博士の渡り鳥 Q&A. TrainVert10 (1) : 52-56.

1996

195. 樋口広芳. 1996. 日本の鳥類相. 日本動物大百科 3 鳥類 I (樋口広芳・森岡裕之・山岸哲編), pp. 6-9. 平凡社, 東京.
194. 樋口広芳. 1996. 「グース」は本物だ! 『Fly Away Home グース』, pp. 12. 東宝(株) 出版, 東京.
193. 奥本大三郎・樋口広芳. 1996. 鳥・虫を愛でる文化. 『鳥かご・虫かごー風流と美のかたちー』, pp. 6-12. INAX 出版, 東京.
192. 樋口広芳. 1996. オーストンヤマガラーその生態と現状ー. 私たちの自然 37 (9):18-21.
191. 樋口広芳・森下英美子. 1996. 夏鳥の声を聞きましたか. 野鳥 61 (5):6-12.
190. 樋口広芳. 1996. メグロはメジロの 1 種ーDNA の塩基配列が示す証拠ー. バーダー 10 (4):74-75.

1995

189. 樋口広芳. 1995. トキ, 再び舞わずー我々に「教え」が遺されたー. 科学朝日 55 (10):34-37.
188. 樋口広芳. 1995. 鳥に教えられることもある. 国語 8, pp. 27. 教育出版, 東京.
187. 樋口広芳. 1995. 鳥のちえ. 国語 2 上, pp. 48-51. 教育出版, 東京.
186. 樋口広芳. 1995. 島の鳥の生態と進化. 遺伝 49 (6):47-53.
185. 仁平義明, 樋口広芳. 1995. 「天才カラス」をさがせー車社会もちゃっかり利用する高度な知能ー. Newton 15 (7):60-65.
184. 樋口広芳. 1995. 鳥たちの建築ー卵を守り, 雌を誘うためのテクニクー. Newton 15 (6):98-105.
183. 藤田剛, 樋口広芳. 1995. 人工衛星を利用した野生動物の移動追跡. 生物科学 46:187-197.

1994

182. 樋口広芳. 1994. 三宅島の鳥と自然. Miyakensis 1:3-12.
181. Higuchi, H. 1994. Satellite tracking of migrating cranes and swans in eastern Asia. Argos Newsletter 48:8-11.
180. Higuchi, H. 1994. Surveys on birds and their habitats. The Tokyo Workshop on Cooperation for the Conservation of Biological Diversity in Asia, pp. 36. Environment Agency and Japan Wildlife Research Center, Tokyo.
179. 樋口広芳. 1994. だれにでも卵をあずけるコウウチョウ. 毎日新聞 1994 年 4 月 17 日.
178. 樋口広芳. 1994. 人工衛星でツルの渡り追跡. プリタニカ国際年鑑 1994, pp. 242, TBS プリタニカ国際年鑑, 東京.
177. 樋口広芳. 1994. 故 山階先生と私. 山階鳥研ニュース 6 (4):3.
176. 樋口広芳・小池重人. 1994. アカコッコの生態と行動. Birder 8 (4):24-27.
175. 樋口広芳. 1994. 風変わりなヤマガラ. Birder 8 (1):27.
174. 樋口広芳. 1994. ヤマガラの話いろいろ. Birder 8 (1):24-25.

1993

173. 樋口広芳. 1993. Tracking cranes by satellite in eastern Asia. Bugle 19(4):4-5.
172. 樋口広芳. 1993. 動物と私ー鳥も考える?ー. なきごえ 29 (10):3.
171. 樋口広芳. 1993. 人工衛星を利用したツルの渡り. どうぶつと動物園 45:328-331.

170. 樋口広芳. 1993. 湿地と生きものたち. 桔梗 (182) : 43-46.
169. 樋口広芳, 内山 彰, 蒲谷鶴彦, 長井弘勝, ののたんぽぽ. 1993. 鳥たちの多様な世界. 野鳥 58 (8) : 12-21.
168. 樋口広芳. 1993. 渡り鳥の移動ルートを連続的に追う. 科学朝日 53 (7) : 118-120.
167. 樋口広芳, 中村浩志. 1993. 津戸基金シンポジウム「鳥の学習と文化」開催される. 鳥学ニュース (47) : 6.
166. Higuchi, H. 1993. The satellite tracking of crane migration. In "The Future of Cranes and Wetlands" (eds. Higuchi, H. and Minton, J.), pp. 19. Wild Bird Society of Japan and the Yomiuri Shimbun, Tokyo.
165. Higuchi, H. 1993. 'International Airports' for Migratory Birds. Pacific Friends 21(2):36-37.
164. 樋口広芳. 1993. ツルがとりもつ日朝のかけ橋. 朝鮮時報 1993年5月10日号.
163. 樋口広芳. 1993. ツルの渡り研究と保護. 野鳥 58 (5) : 37.
162. 樋口広芳. 1993. 三宅島, バードアイランドの今. 野鳥 58 (3) : 32-33.
161. 樋口広芳, 石田健. 1993. 希少種オオトラツグミー日本の"固有種"が絶滅の危機に. アニマ (246) : 76-79.
160. Higuchi, H. 1993. Cranes' Winter Homes in Danger. Asahi Evening News (12289) : 1.
159. Higuchi, H. 1993. Master Caster. Birder's World 7(1) : 17-21.
- 1992
158. 樋口広芳. 1992. 鳥のいる風景. 嗜好 525 : 3-21.
157. 樋口広芳. 1992. 鳥とのくらし, 今と昔. 展望台 (12) : 62-63.
156. 樋口広芳. 1992. 人工衛星を利用した渡り鳥の追跡. 春秋会会報 (24) : 1-17.
155. Higuchi, H. 1992. Russia's Natural Gem. Asahi Evening News (12199) : 1.
154. 樋口広芳. 1992. ロシアとモンゴルのツルと自然. 野鳥 57 (10) : 30-32. (藤田剛と共著)
153. Higuchi, H. 1992. Crisis for The Crest. Asahi Evening News (12171) : 1.
152. 樋口広芳. 1992. 鳥も釣りをする! つり人 47 (11) : 96-97.
151. 樋口広芳. 1992. 手つかずのロシア自然保護区に感動. 聖教新聞 1992年9月1日.
150. Higuchi, H. 1992. At Home With Honeyeaters. Asahi Evening News (12137) : 1.
149. 樋口広芳. 1992. ツルに国境はあるか. 野鳥 57 (8) : 30-35.
148. Higuchi, H. 1992. Rails in the Forests. Asahi Evening News (12060) : 1.
147. Higuchi, H. 1992. Robbing Robin of His Habitat. Asahi Evening News (12032) : 1.
146. 樋口広芳. 1992. 野生生物と人間との共存をめざして. 劉蔭増著 (桂千恵子訳) 『トキが生きていた! 一国際保護鳥トキの再発見物語一』 pp. 133-141. ポプラ社, 東京.
145. 樋口広芳. 1992. 発達の筋道を考える一托卵をめぐる諸問題一. アニマ (237) : 58-59.
144. 樋口広芳. 1992. 鳥類保護研究の課題と問題点. 季刊環境研究 (85) : 25-34.
143. 樋口広芳. 1992. 人工衛星が追ったコハクチョウの渡り. ジュニア朝日年鑑 1992, pp. 114-116. 朝日新聞社, 東京.
142. 樋口広芳. 1992. ササゴイはかしこい一餌を投げて魚をとる一. ジュニア朝日年鑑

1992, pp. 110-113. 朝日新聞社, 東京.

141. 藤田剛, 樋口広芳. 1992. ツバメ調査の意味と役割——斉調査20周年の歩み—. 「ツバメの生息——斉調査報告書」 pp. 2-7. 石川県民運動推進本部, 金沢.

1991

140. Higuchi, H. 1991. Cooperative work on crane migration from Japan to the USSR through Korea and China. In 'Conserving Migratory Birds' (ICBP Technical Publication No. 12 ed. by T. Salathe), pp. 189-202. International Council for Bird Preservation, Cambridge.
139. 樋口広芳. 1991. コハクチョウ<のり子>の旅. 動物たちの地球 (17) : 138.
138. 樋口広芳. 1991. 鳥類の学習と文化伝達. 動物たちの地球 (10) : 308-310.
137. 樋口広芳. 1991. 自然科学からのアプローチ—生物界の多様性と自然保護—. 「21世紀の人と野鳥と自然, 共存のあり方を探る」(野鳥保護資料集第2集)pp. 34-46. (財)日本野鳥の会, 東京.
136. 樋口広芳. 1991. 中国雲南省視察報告. 野鳥 56 (8) : 36-37.
135. 樋口広芳. 1991. 森林にすむ動物の多さに影響する諸要因. 研究ジャーナル 14 (7) : 10-14.
134. 樋口広芳. 1991. 田村賞受賞と私の研究. 国立公園 (496) : 26-28.
133. 樋口広芳. 1991. 第20回国際鳥類学会議に出席して. 鳥学ニュース (38) : 3-5.
132. 樋口広芳. 1991. 森の朝と夜. 大法輪 58 (3) : 32-33.
131. 樋口広芳. 1991. ヤマガラをめぐるあれこれ. はばたき (225) : 2-3.
130. 樋口広芳. 1991. 自然科学からのアプローチ. 野鳥 56 (2) : 8-9.
129. 樋口広芳. 1991. 中国のトキは今. 野鳥 56 (1) : 30.

1990

128. 樋口広芳. 1990. ササゴイはどこでルアーフィッシングを覚えたのか? 新釈どうぶつ読本 (別冊宝島 119), pp. 80-88.
127. 樋口広芳. 1990. 「赤い卵の謎」をめぐる. NHK地球ファミリー『生きもの大紀行』第5巻 (NHK取材班 編), pp. 130-131. 日本放送出版協会, 東京.
126. 樋口広芳. 1990. 森と鳥たちの危機. 生涯フォーラム (1087) : 28-30.
125. 樋口広芳. 1990. 日本の鳥類相の特徴. かんきょう 15 (4) : 23.
124. 樋口広芳. 1990. 今, 野外鳥類学がおもしろい. アニマ (212) : 12-14.
123. 大野正男, 黒沢良彦, 大場達之, 樋口広芳. 1990. 伊豆諸島の生物はどこから来たか. 日本の生物 4 (2) : 36-48.
122. 大場秀章, 幸丸政明, 樋口広芳, 丸山直樹, 山瀬一裕, 菊地邦雄. 1990. 我が国の野生動植物の保護管理の現状と課題. かんきょう 15 (2) : 4-16.

1989

121. 樋口広芳, 大庭照代. 1989. 日本と英米における野外生物学教育. 『自然への共鳴2 日本の人と環境とのつながり』(黒坂三和子 編), pp. 131-170. 思索社, 東京.
120. 樋口広芳. 1989. ササゴイの奇妙な漁法. 『野鳥とともに20年』(熊本野鳥の会, 日本野鳥の会熊本支部), pp. 54-70.
119. 樋口広芳・小池重人. 1989. 巣箱の鳥類学——樹洞で営巣する鳥たちを守る—. アニ

マ (206) : 74-77.

- 118. 樋口広芳. 1989. 米国の鳥類研究者就職事情. 鳥学ニュース (32) : 1.
- 117. 樋口広芳. 1989. こんな調査をやってみよう. 野鳥 54 (4) : 14-17.
- 116. 樋口広芳. 1989. 春の鳥たち. 真宗保育 No. 79 : 2.
- 115. 樋口広芳. 1989. 中国の鳥類相概観. 鳥獣行政 23 (2) : 9-11.
- 114. 樋口広芳. 1989. 鳥の親子. おおるり (86) : 12-18.

1988

- 113. 樋口広芳. 1988. 森とともに去りぬー消えゆく森の鳥たち. 野鳥 53 (11) : 14-17.
- 112. 樋口広芳. 1988. 鳥の世界に見られる道具の使用. どうぶつと動物園 40 : 396-397.
- 111. 樋口広芳. 1988. バードアイランド. 婦人通信 (345) : 2-3.
- 110. 樋口広芳. 1988. 夢が広がる調査・研究—新研究センター発足! 野鳥 53 (7) : 32-34.

1987

- 109. 樋口広芳. 1987. 鳥の楽園, 三宅島. かがくのとも 224号折り込みふろく「もりのとり」, pp. 2-3. 福音館, 東京.
- 108. Higuchi, H. 1987. Cast Master. Natural History 96(8):40-43.
- 107. 樋口広芳. 1987. 小山さんとヤマガラのこと. 『比較行動研究』(新田倫義・小山幸子編), pp. 138-139. 東京女子大動物実験グループ, 東京.
- 106. 樋口広芳. 1987. 世界中が注目するササゴイの疑似餌漁. 『魚釣りの名人 ササゴイ』(国松俊英・坂梨輝男著), pp. 69-71. 偕成社, 東京.
- 105. 樋口広芳. 1987. 日本の自然と鳥たち. 野鳥 54 (4) : 16-21.
- 104. 樋口広芳. 1987. 鳥はなぜ巣をつくるか—巣づくりの進化史. アニマ (175) : 16-21.

1986

- 103. 樋口広芳. 1987. 鳥獣捕獲許可申請にかかわる長谷川氏の一文に寄せて. 鳥学ニュース (22) : 6.
- 102. 樋口広芳. 1986. ミシガンだより. 島の生物 No. 17/18 : 170-175.
- 101. 樋口広芳. 1986. ホトトギス類の托卵習性に見られる諸適応. 『鳥類の繁殖戦略(下)』, pp. 1-31. 東海大学出版会, 東京.
- 100. 樋口広芳, 平野敏明, 遠藤孝一. 1986. 日光の鳥. 『日光の動植物』(日光の動植物編集委員会編), pp. 300-362. 栃の葉書房, 宇都宮.
- 99. 樋口広芳. 1986. 黒白鶴鴿的世界. Yuhina 21 : 51-55.
- 98. 樋口広芳, 松田こずえ. 1986. 三宅島, 国立公園内に米軍飛行場計画が! 自然保護 (1986年3月号) : 12-14.
- 97. 樋口広芳. 1986. 道具を使うササゴイ. ほおじろ (60) : 8-11.

1985

- 96. Moyer, J. T., Higuchi, H., Matsuda, K. and Hasegawa, M. 1985. Threat to unique terrestrial and marine environments and biota in a Japanese National Park. Environmental Conservation 12: 293-301.
- 95. 樋口広芳. 1985. カワセミ類の生態と進化. アニマ (148) : 90-94.
- 94. 樋口広芳, 松田蘭子 (翻訳). 1985. ソ連における新種 *Locustella pleskei* の繁殖と分類について (Yu. N. Nazarov and Yu. V. Shibaev 著). News letter of Ornithology

in the Far East. No.7 Supplement 11-14.

93. 樋口広芳. 1985. 托卵鳥の卵の擬態. Panoramic Magazine iz (29) : 43-44.
92. 樋口広芳. 1985. 趣味と研究. 野鳥 50 (6) : 24-27.
91. 樋口広芳. 1985. 動物の生活型. 『現代生物学大系 12 a 生態 A』(沼田眞監修), pp.212-216. 中山書店, 東京.
90. 樋口広芳. 1985. 奇妙な鳥たち その二. 野鳥 50 (5) : 26-29.
89. 樋口広芳. 1985. 奇妙な鳥たち その一. 野鳥 50 (4) : 26-29.
88. 樋口広芳. 1985. 都市化と鳥. 野鳥 50 (3) : 36-39.
87. 樋口広芳. 1985. 鳥と羽毛. 野鳥 50 (2) : 26-30.
86. 樋口広芳. 1985. 渡りの謎. 野鳥 50 (1) : 26-30.
85. 樋口広芳. 1985. 鳥のルアーフィッシング, ササゴイの知的な行動. アニマ (143) : 57-61.

1984

84. 樋口広芳. 1984. 鳥の本を楽しむ. 野鳥 49 (11) : 26-29.
83. 樋口広芳. 1984. 噴火後の鳥の生息状況. 採集と飼育 46 : 431-435.
82. 樋口広芳. 1984. 鳥はどこでどう寝るか. 野鳥 49 (10) : 26-30.
81. 樋口広芳. 1984. キツツキのいる島いない島. 野鳥 49 (9) : 26-30.
80. 樋口広芳. 1984. 種分化と資源分割. 『現代の鳥類学』(森岡弘之・中村登流・樋口広芳編), pp.216-236. 朝倉書店, 東京.
79. 樋口広芳. 1984. 托卵の不思議. 野鳥 49 (8) : 26-30.
78. 樋口広芳. 1984. 知的な鳥たち 補遺. 野鳥 49 (7) : 38.
77. 樋口広芳. 1984. 噂りについての五つの疑問. 野鳥 49 (6) : 24-28.
76. 樋口広芳. 1984. 小笠原にて. 野鳥 49 (5) : 28-31.
75. 樋口広芳. 1984. 知的な鳥たち. 野鳥 49 (4) : 26-30.
74. 樋口広芳. 1984. 黒白セキレイの世界. 野鳥 49 (3) : 32-35.
73. 樋口広芳. 1984. 卵の秘密. 野鳥 49 (2) : 26-30.
72. 樋口広芳. 1984. 神秘の島ガラパゴス (書評). サイエンス 14 (2) : 138-139.
71. 樋口広芳. 1984. よみがえれ三宅島の自然. 野鳥 49 (1) : 26-29.
70. 樋口広芳. 1984. ヤマガラのおみくじ引き. アニマ (131) : 22-29.

1983

69. 樋口広芳. 1983. 日本の野生6 メグロ. 野生生物 (98) : 14-15.
68. 樋口広芳. 1983. 島と生物学. 生物地理研究会ニュース (2) : 7-9.
67. 樋口広芳. 1983. ホトトギス類の托卵習性. 愛玩動物 5 (9) : 12-13.
66. 樋口広芳. 1983. 生物と職業. 野鳥 48 (12) : 26-30.
65. 樋口広芳. 1983. つがいさまざま. 野鳥 48 (11) : 32-35.
64. 樋口広芳. 1983. 日本の野生2 アカコッコ. 野生生物 (94) : 14-15.
63. 樋口広芳. 1983. 福をもたらしてくれたヤマガラ研究. 野鳥 48 (10) : 22-25.
62. 樋口広芳. 1983. 似たものどうしの困った問題. 野鳥 48 (9) : 22-25.
61. 樋口広芳. 1983. トカゲと鳥. 野鳥 48 (8) : 16-19.
60. 樋口広芳. 1983. ホトトギス類一子育てを他人にまかす鳥一. 山林 (1188) : 34-35.

59. 樋口広芳. 1983. 「赤い卵の謎」から「青い卵の謎」へ. アニマ (123) : 102-106.
58. 樋口広芳. 1983. 托卵習性の謎を解くーホトトギス類におけるずるがしこさの進化. アニマ (123) : 97-101.
57. 樋口広芳. 1983. 社会生態学入門 動物の社会行動 (書評). 科学朝日 43 (2) : 107.
- 1982
56. 樋口広芳. 1982. 赤い卵の謎. アニマ (118) : 94-99.
55. 樋口広芳. 1982. 協同繁殖をするモリヤツガシラ (翻訳). サイエンス 12 (9) : 100-109.
54. 樋口広芳. 1982. 島の鳥の生物学. 野鳥 47 (8) : 12-16.
53. 樋口広芳. 1982. アフターマンー人類滅亡後の地球を支配する動物たち (書評). サイエンス 12 (8) : 134-135.
52. 樋口広芳. 1982. 鳥の巣さまざま. 月刊百科 No. 238 : 18-22.
51. 樋口広芳. 1982. 飛べない鳥の謎. アニマ (110) : 12-19.
50. 樋口広芳. 1982. バードアイランド・三宅島の鳥たち. ワイルドライフ (46) : 37-43.
- 1981
49. 樋口広芳. 1981. 中国鳥類観察之行. 自然資源研究 1981 年第 1 期, pp. 90-92.
48. 樋口広芳. 1981. 鳥の美しさの意味と役割. Panoramic mag. <is> 13 : 33-35.
47. 樋口広芳. 1981. カモ類の羽色, 形と生態. 野鳥 46 : 18-21.
- 1980
46. 樋口広芳. 1980. はみだし生物学 (書評). サイエンス 10 (12) : 139.
45. 樋口広芳. 1980. ヤマガラの生態と行動. 『神奈川の野鳥』(有隣堂), pp. 126-146.
44. 樋口広芳. 1980. 中国鳥類観察行. 野鳥 45 : 598-602.
43. 樋口広芳. 1980. 島にすむ鳥の生態. どうぶつと動物園 32 : 234-235.
- 1979
42. 樋口広芳. 1979. 野の鳥の生態 (書評). アニマ (77) : 96.
41. 樋口広芳. 1979. 雷鳥の四季 (科学映画紹介). 自然 34 (4) : 111.
- 1978
40. 樋口広芳. 1978. 海を渡る陸鳥 (翻訳). サイエンス 8 (12) : 8-17.
39. 樋口広芳. 1978. キーウィの生態と進化 (翻訳). サイエンス 8 (9) : 86-96.
38. 樋口広芳. 1978. アメリカの鳥と鳥の研究者をたずねて. 日本雉水鳥協会誌 11 (2) : 12-14.
37. 樋口広芳. 1978. ある地域, 環境にすむ鳥の構成. 野鳥 43 : 382-389.
36. 樋口広芳. 1978. 生息種数と多様性をめぐる諸問題 その 2. 野鳥 43 : 143-150.
35. 樋口広芳. 1978. よりよいサンクチュアリをつくるために役立つ理論ー 生息種数と多様性をめぐる諸問題 その 1 をかねて. 野鳥 43 : 36-41.
- 1977
34. 樋口広芳. 1977. 鳥とはどんな動物か. 野鳥 42 : 642-647.
33. 樋口広芳. 1977. いろいろな鳥がいることの意味 その 2. 野鳥 42 : 592-599.
32. 樋口広芳. 1977. いろいろな鳥がいることの意味 その 1. 野鳥 42 : 480-485.
31. 樋口広芳. 1977. 棲み分け, または生態隔離 その 3. 野鳥 42 : 362-368.
30. 樋口広芳. 1977. 棲み分け, または生態隔離 その 2. 野鳥 42 : 256-265.

29. 樋口広芳. 1977. 棲み分け, または生態隔離 その1. 野鳥 42 : 203-210.
28. 樋口広芳. 1977. アメリカの鳥と鳥の研究者をたずねて 2. 日本雉水鳥協会誌 10 (4) : 10-13.
27. 樋口広芳. 1977. アメリカの鳥と鳥の研究者をたずねて 1. 日本雉水鳥協会誌 10 (2) : 10-12.
26. 樋口広芳. 1977. 求愛給餌をする鳥, しない鳥. アニマ (63) : 29-32.
25. 樋口広芳. 1977. ヤマガラの貯食習性一念入りな行動と高い利用率一. アニマ (55) : 46-48.
24. 樋口広芳. 1977. 採食習性と形態一くちばしと脚にみる適応一. アニマ (55) : 29-35.
23. 樋口広芳. 1977. メグロ絶滅をまぬがれた唯一の固有種. アニマ (50) : 33.

1976

22. 樋口広芳. 1976. 伊豆諸島の鳥類一その生態と近年における生息状況の変化一. どうぶつと動物園 28 (4) : 20-23.
21. 樋口広芳. 1976. 年齢によって異なる繁殖の成功率. アニマ (37) : 70-71.
20. 樋口広芳. 1976. 種の形成. 野鳥 41 : 586-591.
19. 樋口広芳. 1976. いろいろな変りもの. 野鳥 41 : 474-479.
18. 樋口広芳. 1976. ヤマガラの生活 その5. 野鳥 41 : 364-370.
17. 樋口広芳. 1976. ヤマガラの生活 その4. 野鳥 41 : 306-311.
16. 樋口広芳. 1976. ヤマガラの生活 その3. 野鳥 41 : 149-154.
15. 樋口広芳. 1976. ヤマガラの生活 その2. 野鳥 41 : 86-92.
14. 樋口広芳. 1976. ヤマガラの生活 その1. 野鳥 41 : 24-31.
13. 樋口広芳. 1976. シベリアに冬鳥の故郷を訪ねて. アニマ (44) : 36-40.

1975

12. 樋口広芳. 1975. 地理的変異一その2. 生態はどう違うか一. 野鳥 40 : 582-587.
11. 樋口広芳. 1975. 地理的変異一地域ごとに異なる羽色・大きさ・囀り一. 野鳥 40 : 524-531.
10. 樋口広芳. 1975. 実際の分類における種と亜種. 野鳥 40 : 473-478.
9. 樋口広芳. 1975. 種について. 野鳥 40 : 414-420.
8. 樋口広芳. 1975. 島にすむ鳥の一腹卵数は少ない. アニマ (31) : 34-35.
7. 樋口広芳. 1975. 鳥にもある「右利き」と「左利き」. アニマ (27) : 58-59.
6. 樋口広芳. 1975. ハッカ雄の抱卵行動. 日本雉水鳥協会誌 8 (3) : 12.

1973

5. 樋口広芳. 1973. アジサシ類の採食習性. 朝日＝ラールス動物百科 (106) : 27-29.
4. 樋口広芳. 1973. フクロウ類の聴覚. 朝日＝ラールス動物百科 (95) : 27-28.
3. 樋口広芳. 1973. 鳥類保護から見た飼育・繁殖・放鳥に関するいくつかの問題点. 日本雉水鳥協会誌 6 (2) : 20-23.
2. 樋口広芳. 1973. ヤケイ類の飼育下における交雑と種の問題. 日本雉水鳥協会誌 6 (4) : 15-17.

1969

1. 樋口広芳. 1969. 伊豆七島の鳥類—その進化・分類学的考察—. 宇都宮大学探鳥会 (謄写刷り).